

施設所管課室評価様式

1 評価対象及び評価者

(1) 評価対象年度	令和 5 年度	(2) 整理番号	02
(3) 施設名	和歌山県国際交流センター		
(4) 所管課室	企画部 企画政策局 国際課		
(5) 評価者(所管課室長名)	国際課長 山下 善夫		

2 評価内容(5段階評価)

(1) 施設効用の最大限発揮	評価	4 (優れている。)
<p>評価の理由</p> <p>和歌山県における国際交流の中核施設として、社会の国際化に即した地域の発展を促進するため、県民の国際交流活動支援や在住外国人支援などの事業を実施している。国際交流団体に対しては、施設や設備を提供するとともに、各団体が利用できるロッカーを設けている。また、国際交流センター利用者に対しては、交流ラウンジにウォーターサーバーやWi-Fiを整備していることに加え、快適な利用を促進するため、資料閲覧室・キッズコーナー等も定期的にレイアウトやデコレーションを見直し、創意工夫した環境づくりに努めている。</p> <p>更に、施設内の表示は全て、原則、やさしい日本語・英語・中国語・フィリピン語・ベトナム語で作成し、在住外国人も安心して利用できるようにしている。</p>		
(2) 効率的な管理運営	評価	4 (優れている。)
<p>評価の理由</p> <p>利用者に対するサービスを向上させるため、施設内の清掃に努め清潔な雰囲気づくりに努めると共に、アンケート調査を通じてニーズを的確に把握し、利用者からの意見・要望等に対して迅速に対応するよう努めている。</p> <p>また、業務については、限られた人員の中で各職員が担当分野だけでなく多種多様な業務を行えるよう職員同士が連携し効率的な運営に努めている。</p> <p>令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、対面型交流イベントの参加者数の制限を緩和したり、50名規模の対面型交流イベントを開催する等、国際交流センター利用者数の増加に取り組んでいる。</p>		

3 総合評価

<p>県民の国際交流に関する支援、県内在住外国人に対する支援を行う機会の提供等、国際化に対応した地域社会の発展を促進するという施設の設置目的に沿った事業展開がなされている。</p> <p>新型コロナ禍が明け、感染対策を継続した上で積極的に対面型交流イベントを再開したことで、利用者数が前年度に引き続き増加し、重要業績評価指標(KPI)の利用者数の目標値を達成した。また、在住外国人のための「専門家による一日相談会」も再開し、外国人生活相談窓口でも約900件と前年度と同等の対応をした一方で、相談員が資質向上研修に参加する等、定期的に相談技量の向上に努めている点は高く評価できる。</p>
